

南 滿 行

倉 橋 惣 三

一、秋や如何

秋や如何。私の滿州旅行は二回とも夏であつたが、彼の地の最好季は秋だといふことである。此の前の時には、季既に九月に入つて、ハルビンの夜を夏服の襟を立て、歩いた思ひ出もあるが、今年は七月中旬から下旬にかけて、滿州の夏を、その最高溫度に於て味つた譯だ。勿論、内地の濕めつばい蒸熱と違つて、却つて心持ちがよい。ポブラの日蔭に吹く風は肌に爽かに、ヤマトホテルの屋上庭園の夕は、氷茶のコップを呑み忘れる程の涼味に充ちてゐる。併し、なんといつても猛夏だ、日光が餘りに明る過ぎて、ものゝ色が眩しい。秋ならば更に一段と樂しかろうとは、路上に、車中

に、またしても私を捕えた想像であつた。

此の秋晴に、あの奉天北郊の廣野を訪ふたらどうであらう。大連から旅順への滑かな新道をドライブしたらどうであらう。長春公園の池の畔をぶら／＼と歩いて見たらどうであらう。更に、公記飯店の中庭の、葉の粗らな兆竹桃の傍に、支那酒の酔で星を仰いだらどうであらう。まだ火を入れないペチカの側をなつかしみながら、松花江のうまい川魚を滿喫したらどうであらう。……こんなことを次から次へ思ひつゞけてゐたら切りがない。私の滿州へ渡つたのは、遊びに行つたのではない。

二、滿州の幼稚園

私の渡滿第一の任務は、滿鐵主催の保育講習會に於て、全滿州の保姆諸君のために講義をすることをあつた。私は、此の依頼を如何に喜んで受けたことか。今年の夏季休暇こそは、少し疲れた體を海邊に養い度いと思つてゐた豫ての計畫の半分を割いて、少しも惜しいと思はなかつたのである。

私は十數年前、關東廳の招きを受けて、旅順で保育講習を開いたことがある。それが、滿州の幼稚園教育に交渉をもつた初めてである。その講習後、滿鐵の當時の教育課長岡本氏に伴はれて、沿線各地の幼兒運動場（其頃はまだ幼稚園といはなかつた）を視察して巡つた。その時、どういふ所感をもつたか、如何なる忠言を提供したか今詳しく覚えてゐない。しかし、今尙ほ明瞭に記憶してゐることは、幼兒運動場の名稱を幼稚園と改められたいと切に警告したことである。もつと適切にいへば、幼稚園の精神に基いて幼兒の問題を考へら

れたといふことであつた。勿論、當時滿鐵に於て、幼稚園といはず特に幼兒運動場といつた理由には、その當時として相當の理由のあつたことである。それを極く要約していへば、幼稚園といふ名に於て従來行はれることの少なくなかつた知的早教育、訓練的形式教育の弊を憂へてゐたのであつた。その心を更に解釋していへば、滿鐵教育當事者諸君が、まのあたり幼兒達に與へようと望んだ幸福なる生活、健康なる發達と、全然かけ離れたことが幼稚園の名に於て行はれることを恐れたのであつた。私は當時、之れ等の心持そのものには充分の理解をもつた。旅順の講習に於ても、そうした誤つた幼稚園教育法を、手厳しく責めもし、除去しようとしたのであつた。其頃幼稚園に對する私の力の向けどころが、舊い誤謬の打破排撃に専らであつた時もあり、その意味では、幼稚園の名を忌む滿鐵教育當事者諸君の心持ちに寧ろ

同一、或はそれ以上の賛成であつたのである。しかし、それは、幼稚園の名の誤つた使はれ方に過ぎない。その誤りに如何に弊があろうとも、正しい幼稚園の名に存する深い意味は、どうしても、他の言葉を以て更へることが出来ないことも、私の確信するところであつたのである。「そんなに幼稚園の名の誤用を憂ふるならば、こゝで、幼稚園の名を正しきに歸して下さらんか、」私はそんなことまで言つたことを覚えてゐる。

當時の所謂幼児運動場は、勿論、在滿州の同胞幼児達のために、多くのいゝものを與へてゐた。殊に、運動場の名が示すように、運動による健康増進のために、極めて効果ある貢献をしてゐたに相違ない。しかし、私はそこに二様の實際問題を見たのである。一つは、幼児のあるところ必ず當然の教育が存せざるを得ない筈であるのに、それが、運動場の名に災されて、却つて非教育的放任

が看過せられないとも限らないことであつた。(當然行はるべき教育が行はれないのは非教育である)。それからもう一つの場合は、保姆として、當然幼児のために心づく教育的諸注意が、運動場の名のために、無意味に遠慮されなければならぬ様な趣き、殊に、此の場合、保姆その人の心に起る不必要な困惑を屢々見たことであつた。そこで私は、幼稚園の名の採り用ゐらるゝことを、強く主張したのであつた。

其の後、滿洲の幼稚園と私との關係は、相當密接に行はれた。殊に、多くの保姆諸君との個人的連絡は、私をして、滿洲の幼稚園といふことを、一個の問題として念頭に忘れしめなかつた。また其の發展の消息も絶えず私の許に傳へられた。幼児運動場の名が幼稚園と改められたことも、勿論非常の喜びを以て、私の疾く傳を聞いたことであつた。

そんな譯で、今度、朝鮮經由、初めて安東に入つた第一に、雨を冒して、其の幼稚園を訪ねたのも、思ひ出多い、舊いなつかしみに驅られてのことであつた。

三、視學のお話

私の希望としては、此の機會に、出来るだけ多くの幼稚園の實際を見たいことであつた。しかし社會課の方の用事に忙しかつたのと、旅中の後半は休暇になつたのと、他の視察事項とのためにそう澤山を見ることは出来なかつた。しかし、幸なことに、幼稚園の方を管掌せらるゝ生田視學と奉天講習中同じ旅館にゐた爲に、いろ／＼のお話を聞くことが出来たのである。そのお話の中で、私の最も愉快に聞いたことは、滿洲現在の保姆諸君の質の揃つてゐることである。遠慮なくいへば、昔の幼兒運動場時代には、立派な保姆諸君も多くあつたが、中には、幼兒保育者として、頗る素養

の足りない様の人も、少くないと聞いてゐた。それが今日、百名に近い保姆諸君は、皆、幼兒保育の教養を具へてゐる人ばかりだといふことである。何より喜ばしいこと、言はなければならぬ。之れは滿洲の教育者一般に亘つて同一の事實であるが、教育者その人の質の充實といふことは、現在の滿洲教育の確に誇りとするのであろう。

たゞに現在々職者によりき保姆を得てゐるのみでなく、幼稚園従事志望者に人を缺かないといふ話も、最も私を喜ばせたことであつた。今日の滿洲を知るものにとつては、滿洲は決して、行くに遠く、住むに難い處ではない。しかし、兎に角内地を離れた租借地といふので、好んで赴任する保姆を得難からうとは誰れにでもある危惧である。私など、從來屢々、滿洲からの保姆招聘の依頼を受けて、その人を得るに苦しんだ經驗も、數回にして止まらないのである。そこで、滿洲在住

の良家の子女で、高等女學校卒業後、此の方面の特殊教養を得て、滿洲幼稚園のために就任する資格者が多くならなければならぬ。そのためには、出來得るだけの便宜も計り度いといふことは、豫て、當事者諸君にもよく話してゐた意見であつたのである。ところが、今日の狀況は、何の案ずることもなく、そうした志望者が澤山にあつて、時々過剰する位だといふお話なのである。誠に喜ばしいことゝ言はなければならぬ。

尙ほ、それについて喜ばしいお話は、保姆諸君の熱心なことである。殊に、沿線を各研究區に區分して、相互討考に勵まれてゐるといふお話は、不斷の進歩を思はせるものである。それにつけても、學務課としての指導も亦、頗る力を盡されてゐることを思はずにゐられない。生田視學は嘗て海外の教育を視察せられた時、アメリカの幼稚園教育の進歩、また、幼稚園と小學校低學年との連

絡に關する傾向などに就ても充分研究して來られたのである。即ち、現代の幼稚園教育に就て精しい理解をもつ人である。歸來、滿洲の幼稚園のために、多大の盡力をしてゐられる。斯ういふ、幼稚園のために幸な視學を持つことは、内地に於ても遺憾ながら多くない。滿洲幼稚園のために至慶とせざるを得ないのである。(つゞく)

新らしい遊戯集

——望月クニ、田中銀之助氏の「創

作唱歌と遊戯」——

倉橋惣三

幼稚園の遊戯は往々にして種切れになる。いつでも同じものが繰り返されて、幼兒の新鮮な興味を促し難くなつたりする。素より、よき遊戯は幾度繰り返されても楽しいものであり、徒らに新らしいものゝばかり追ふてゐることは、必ずしもいゝことでないが、よきものゝ新提供は誠に